

平成 25 年度 十勝農試定期作況報告 **菜豆** さいとう サイトウ いんげん インゲン

月	作況	事由
6月20日	やや良	<p>播種期は平年より1日遅かったが、播種後は高温に経過したため、出芽期は1~2日早かった。出芽以降も高温に経過したことから、草丈、葉数ともに平年をやや上回っている。</p> <p>以上のことから、現在の作況はやや良である。</p>
7月20日	平年並	<p>7月上旬の気温が高く経過したことから、開花始は手亡類では平年より4日早く、金時類では1~2日早かった。7月上旬以降の少雨により、手亡類では草丈および葉数ともに平年をやや下回り、金時類では草丈は上回るものの葉数は平年並である。</p> <p>以上のことから、現在の作況は平年並である。</p>
8月20日	やや不良	<p>7月下旬以降、平年に比べ寡照に経過した。手亡類では、草丈は平年を下回り、着莢数は少ない。金時類では、草丈は平年をやや上回るものの、7月下旬の降雨により中程度の倒伏が発生し、着莢数はやや少ない。</p> <p>以上のことから、現在の作況はやや不良である。</p>
9月20日	不良	<p>8月下旬以降、継続的な降雨があった。成熟期はほぼ平年並だった。手亡類では、一莢内粒数および百粒重はほぼ平年並であるが着莢数が平年を下回り、子実重は平年比94%とやや低収であった。金時類では、着莢数は平年をやや下回ったが百粒重は重く、「福勝」は子実重が平年比108%とやや多収であった。一方「大正金時」は、一莢内粒数が平年を下回り、子実重も平年比95%とやや低収であった。</p> <p>倒伏の発生および成熟期までの降雨により、手亡類では発芽粒および腐敗粒が生じ、金時類では色流れ粒が多発(屑粒の約8~9割程度を占める)したことから、屑粒率は共に平年を大きく上回っていた。</p> <p>以上のことから、現在の作況は不良である。</p>
11月20日	不良	<p>播種期は平年より1日遅かったが、出芽期はその後の高温により1~2日早かった。開花始は7月上旬の高温により平年より早かったものの、成熟期は7月下旬以降寡照であったことから平年並であった。</p> <p>手亡類では、一莢内粒数および百粒重はほぼ平年並だったが、着莢数が平年を下回り、子実重は平年比94%とやや低収であった。金時類では、着莢数は平年をやや下回ったが、百粒重は重く、「福勝」は子実重が平年比108%とやや多収であった。一方「大正金時」は、一莢内粒数が平年を下回り、子実重は平年比95%とやや低収であった。</p> <p>倒伏の発生および成熟期までの連続的な降雨(8月下旬から9月上旬)により、手亡類では発芽粒および腐敗粒が生じ、金時類では色流れ粒が多発した(屑粒の約8~9割)。このため、屑粒率は共に平年を大きく上回り、検査等級は平年を大きく下回った。</p> <p>以上のことから、本年の作況は不良である。</p>

※本作況は、十勝農業試験場における生育と収量について平年値との比較に基づき評価しているものであり、十勝管内全体の作況を代表するものではありません。

## 生育データ

品種名 項目/年次	雪 手 亡			大 正 金 時			福 勝			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期(月日)	5.28	5.27	1	5.28	5.27	1	5.28	5.27	1	
出芽期(月日)	6.7	6.8	△1	6.8	6.10	△2	6.9	6.10	△1	
開花始(月日)	7.17	7.21	△4	7.10	7.11	△1	7.10	7.12	△2	
成熟期(月日)	9.15	9.15	0	9.1	9.2	△1	9.7	9.7	0	
草丈 (cm)	6月20日	7.4	6.5	0.9	10.5	9.7	0.8	10.2	9.5	0.7
	7月20日	47.9	54.0	△6.1	60.0	46.9	13.1	58.2	48.3	9.9
	8月20日	53.4	72.6	△19.2	58.0	52.5	5.5	59.9	56.7	3.2
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	56.4	69.7	△13.3	55.9	52.0	3.9	57.2	56.1	1.1
葉数 (枚)	6月20日	1.9	0.9	1.0	1.3	0.9	0.4	1.7	1.0	0.7
	7月20日	6.1	7.2	△1.1	3.3	3.6	△0.3	3.7	3.8	△0.1
	8月20日	6.2	7.7	△1.5	3.6	3.7	△0.1	3.9	3.8	0.1
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
主茎節数 (節)	成熟期	8.1	9.3	△1.2	5.7	5.6	0.1	5.7	5.8	△0.1
	7月20日	9.5	9.3	0.2	7.6	8.0	△0.4	8.1	7.8	0.3
分枝数 (本/株)	8月20日	8.7	8.7	0.0	6.7	6.2	0.5	5.8	5.8	0.0
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	7.9	8.1	△0.2	6.5	5.6	0.9	5.3	5.2	0.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	31.7	35.1	△3.4	16.8	17.5	△0.7	16.0	17.0	△1.0
	9月20日	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	成熟期	28.1	31.5	△3.4	15.7	16.5	△0.8	14.8	15.7	△0.9
一莢内粒数	4.39	4.41	△0.02	2.65	2.99	△0.34	2.60	2.70	△0.10	
総重(kg/10a)	589	645	△56	566	548	18	618	550	68	
子実重(kg/10a)	340	363	△23	275	291	△16	317	294	23	
百粒重(g)	33.3	32.3	1.0	77.3	70.6	6.7	91.9	84.6	7.3	
屑粒率(%)	19.5	8.1	11.4	38.2	9.2	29.0	52.6	10.0	42.6	
品質(検査等級)	4上	3上	-	4中	2下	-	外	3上	-	
子実重対平年比(%)	94	100	-	95	100	-	108	100	-	

備考 1) 平年値は、前7か年中、平成23年(豊作年)及び18年(凶作年)を除く5か年平均である。

ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。

2) △は平年より早、少、短、軽、低を表す。

3) 屑粒は、病害粒、変色粒(色流れ)、未熟粒、等を含む。

## 耕種概要

区面積(m <sup>2</sup> )	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	1株本数	株数(株/10a)	播種日(月日)
12.0	3	えん麦	60	20	2	8,333	5.28
施肥量(kg/10a)							
N	P2O5	K2O	MgO	堆肥	その他		
2.4	20.0	10.4	4.0	なし	なし		

※十勝農業試験場定期作況報告に掲載の記事・図表・写真の無断転載を禁じます。すべての著作権は十勝農業試験場に帰属します。